

## 国文白百合投稿規定

- 一、本誌への投稿資格は、白百合女子大学国語国文学会会員に限ります。
- 一、投稿論文の採否には、本誌編集委員会があたります。
- 一、投稿論文の枚数は、四百字詰原稿用紙三十枚を原則とします。
- 一、投稿論文の原稿はお返ししません。
- 一、投稿論文は、正副合わせて二部お送りください（コピーでも可）。
- 一、本誌五十四号（令和五年三月刊行予定）の投稿締切は、令和四年九月二十五日です。
- 一、投稿論文の送付先は、白百合女子大学国語国文学科研究室です。

## 編集後記

昨年、本学名誉教授でいらつしやる鈴木英夫先生、外村南都子先生がご逝去されました。私も長年お世話になり、鈴木先生ならではの軽やかなお振舞い、外村

先生の優しいお声が忘れられず、いまだに信じられない思いです。コロナの影響で大学はたいへんな状況にあります。先生のお人柄を偲び、学問と本学本学科に対する思いをしっかりと受けとめて、精進してゆきたいと思っています。

この「国文白百合」五三号には、論文四篇、資料一篇のほか共同セミナーの記録一篇も収録致しました。

高橋博史先生のご論文は二〇二〇年一月に行われた最終講義の一部の活字化をお願いしたものです。また、フランスのリール大学との共同セミナーはズームを用いたはじめての試みで、試行錯誤を繰り返しながら、しばらく続けてゆきたいと考えています。なお、これを機に、本誌のフランス語タイトル *Lys blanc - Litterature japonaise* を考えました。表紙の表記につきましては、次号以降に向けて検討します。この企画にご協力いただいた竹本俊雄先生はじめリール大学の皆さまに感謝します。

もうひとつご報告があります。二〇二一年一月二五日、作家で元・東京都知事の猪瀬直樹氏のご自宅で、文学と社会

の関係について、広くお話をうかがう機会がありました。猪瀬氏には評伝『ベルソナ 三島由紀夫伝』、『ピカレスク 太宰治伝』などの著書があり、執筆にあたっての原資料をご紹介いただきながら、三時間近くご講義頂きました。本学大学院学生主体の会でしたが、学部学生も参加して大きな刺激を受けました。その成果は卒業論文にも生かされています。今後このような企画を進め、次号以降、本誌で紹介してゆきたいと考えています。（井上）

【国文白百合】 53号

*Lys blanc - Litterature japonaise*

非売品

令和四年三月十五日 発行

〒一八二―八五二五

東京都調布市緑ヶ丘一―二五

白百合女子大学国語国文学研究室内

編集 白百合女子大学国語国文学会

発行 白百合女子大学国語国文学会

（電）〇三―三三二六―五〇五〇（代表）